

# 中小企業景況レポート vol.159

2019.4~6

## 業況判断D I 4月~6月は13.8となり4期連続のプラス

### 【2019年4月~6月期の業況判断D I】

今回調査期間における全業種総合の業況判断D Iは前回調査比で8.5ポイント上昇し13.8となり4期連続でプラスとなりました。

卸売業以外の5業種において業況判断D Iがプラスとなっており、景況感が高めに推移しています。

### 【2019年7月~9月期の予想業況判断D I】

次回調査期間における全業種総合の予想業況判断D Iは今回調査比で8.5ポイント低下し5.3となっています。

業種名	時期	2019年 1月~3月	2019年 4月~6月	2019年 7月~9月 (予想)
全業種総合		☁ 5.3	➡ 8.5	☁ 5.3
製造業		☀ 20.5	➡ Δ 0.5	☀ 10.0
卸売業		☂ Δ18.3	➡ 3.3	☂ Δ15.0
小売業		☂ Δ15.8	➡ 21.2	☂ Δ 8.1
サービス業		☁ Δ 1.5	➡ 8.9	☁ Δ 0.1
建設業		☀ 20.6	➡ 9.1	☀ 22.6
不動産業		☀ 16.7	➡ Δ 0.1	☀ 5.5

景況  
天気図  
の目安

D I  
好調 ←

30  
以上  
☀

10以上  
30未満  
☁

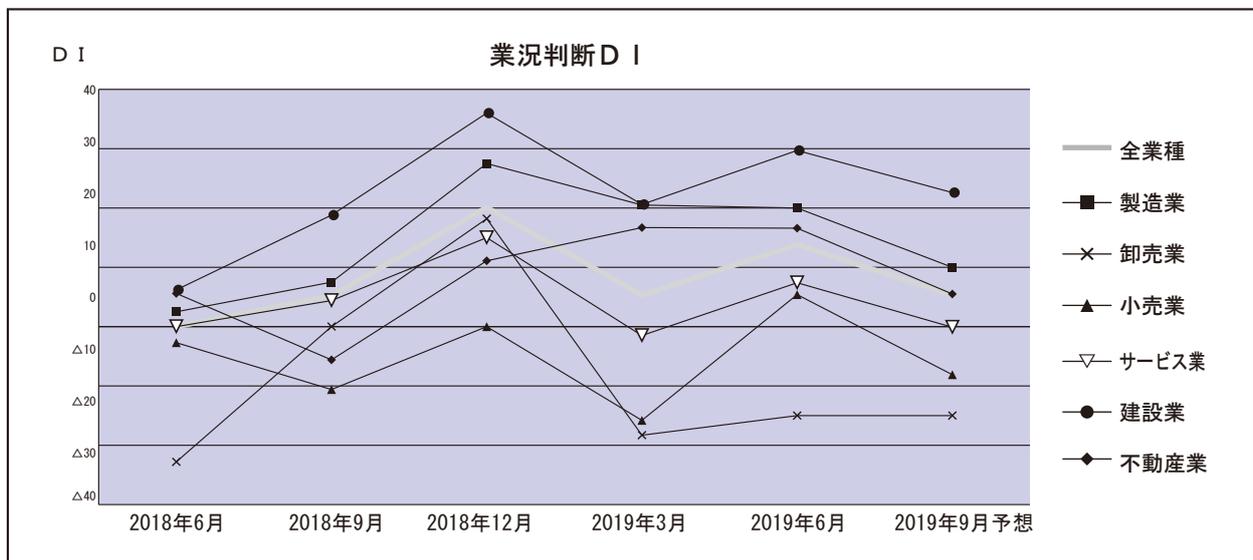
0以上  
10未満  
☁

Δ10以上  
0未満  
☁

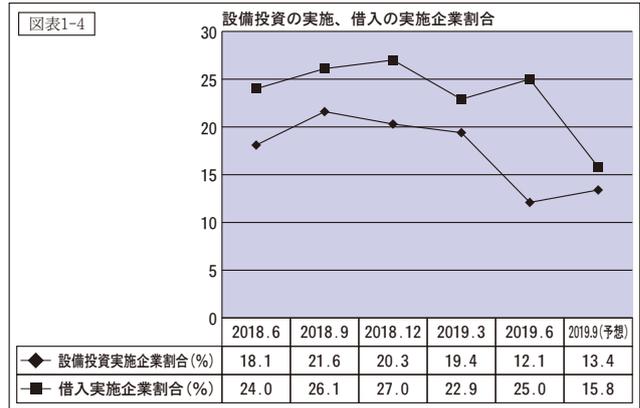
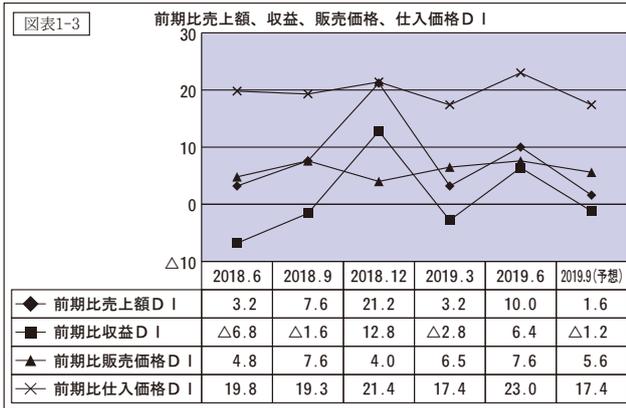
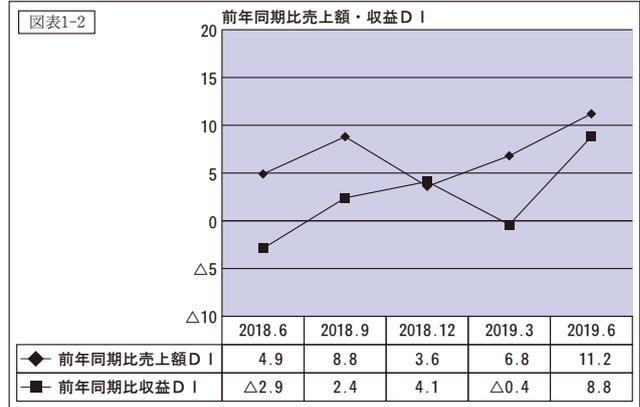
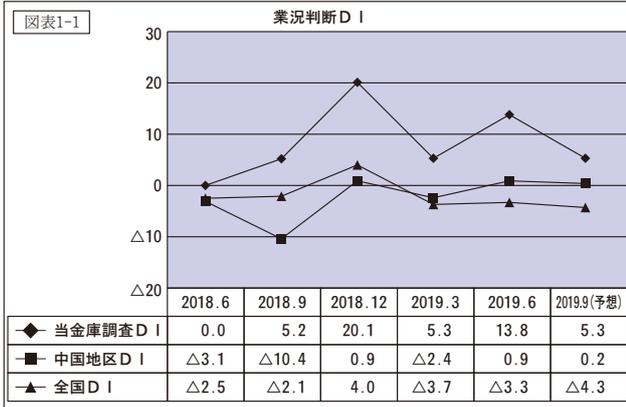
Δ30以上  
Δ10未満  
☂

Δ30  
未満  
☂

→ 低調



# 全業種総合



## 景況 ～業況判断D Iは13.8で4期連続のプラス～

今期の業況判断D Iは全業種総合で前回調査比8.5ポイントの上昇により5.3→13.8となりました。中国地区D I (0.9)、全国D I (△3.3)と比較して当金庫営業エリアの景況感は高くなっています。なお、次回調査期間(2019年7月～9月)の業況判断D Iは13.8→5.3と、今回調査比8.5ポイントの低下予想となっています(図表1-1)。

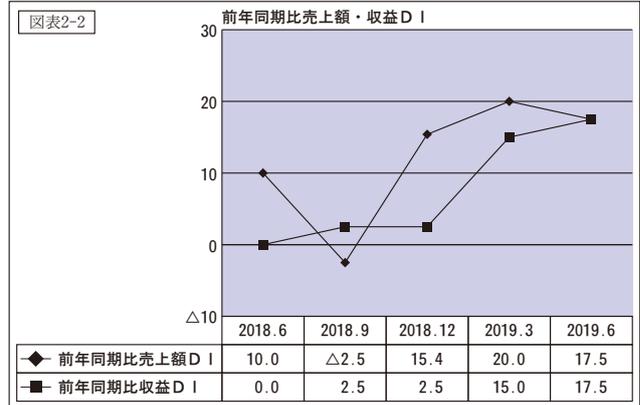
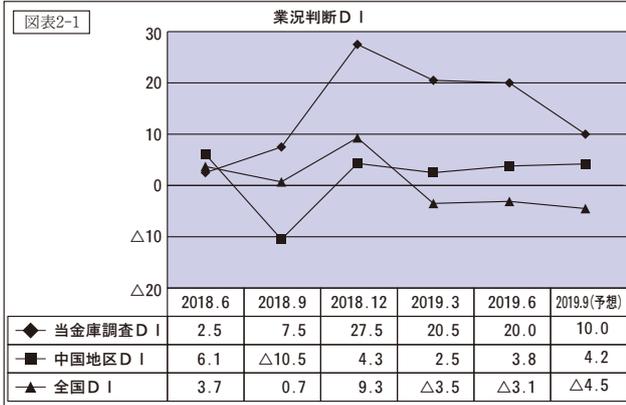
前年同期比売上額D Iは11.2、同収益D Iは8.8であり、1年前と比較して売上額、収益ともに高めで推移しています(図表1-2)。

今回調査期間で設備投資を実施した企業の割合は12.1%となり、前回調査比で7.3ポイントの低下、借入を実施した企業の割合は25.0%となり、前回調査比で2.1ポイントの上昇となりました。

次回調査期間に設備投資を予定している企業の割合は13.4%であり今回調査期間に設備投資を実施した企業の割合と比較して1.3ポイントの上昇となっています。また、次回調査期間に借入を予定している企業の割合は15.8%であり、今回調査期間に借入を実施した企業の割合と比較して9.2ポイントの低下となっています(図表1-4)。

また、設備状況の見通しが「やや不足」「不足」と判断している企業のうち、設備投資をおこなわないと回答している企業は66.7%(前回調査比+11.1ポイント)であり、設備投資に慎重な対応をおこなう企業が増加しています。

# 製造業



## 景況 ～今期低下 来期も低下の予想～

今期の業況判断D Iは20.5→20.0と前回調査比0.5ポイントの低下となりました。また、来期の予想業況判断D Iは20.0→10.0と10.0ポイントの大幅低下予想となっています（図表2-1）。

今回調査期間中に発表された岡山県金融経済月報（以下、「日銀月報」）によると、生産活動は「一部に弱さがあるものの、基調としては増加」との判断であり、繊維や農機具などが弱めの動きですが全体的に見ると景況感の高めを維持しています。

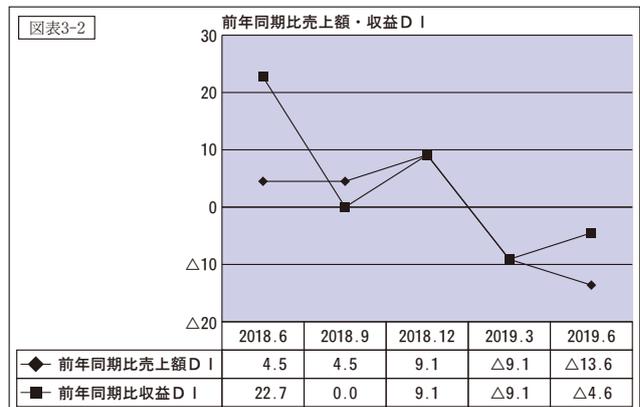
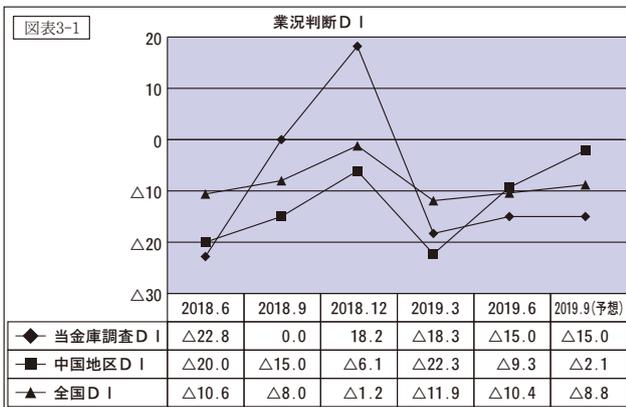
経営上の問題点において「人手不足」、当面の重点経営施策において「人材を確保する」との回答が上昇しているとおおり、製造業においても人手不足が深刻となっています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	人手不足	32.5%	売上の停滞・減少	27.5%	原材料高	22.5%
当面の重点経営施策	販路を広げる	60.0%	人材を確保する	45.0%	経費を節減する	37.5%

# 卸売業



## 景況 ～今期上昇 来期は横ばいの予想～

今期の業況判断D Iは△18.3→△15.0と前回調査比3.3ポイントの上昇となりました。また、来期の予想業況判断D Iは△15.0と横ばいの予想となっています（図表3-1）。

今期の業況判断D Iがマイナスである唯一の業種であり、本年年明けから景況感の悪化が続いています。

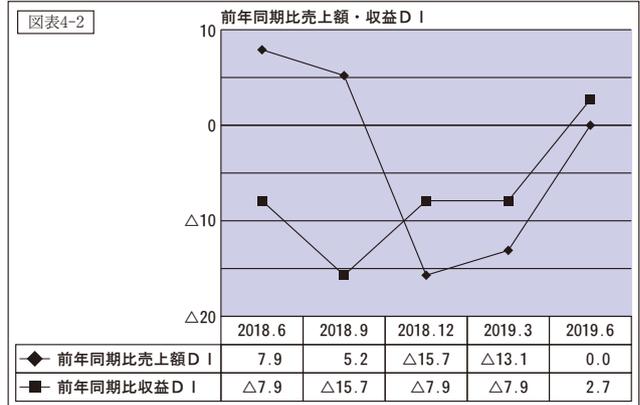
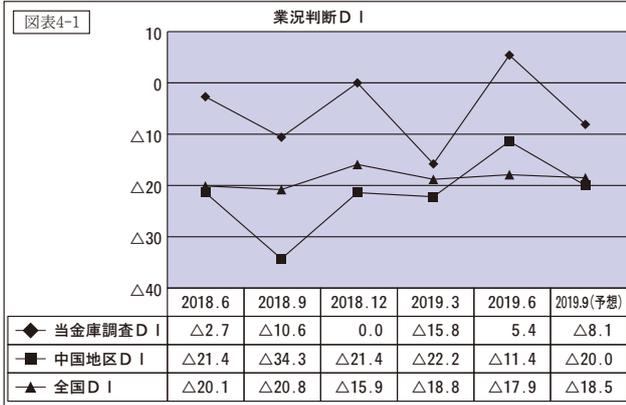
経営上の問題点では「売上の停滞・減少」との回答が上昇、また廃業などによる「取引先の減少」との回答も上昇しています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少	54.5%	同業者間の競争の激化	31.8%	取引先の減少	22.7%
当面の重点経営施策	販路を広げる	54.5%	経費を節減する	31.8%	人材を確保する	27.3%

# 小 売 業



## 景 況 ～今期大幅上昇 来期は大幅低下の予想～

今期の業況判断D Iは△15.8→5.4と前回調査比21.2ポイントの大幅上昇となりました。また、来期の予想業況判断D Iは5.4→△8.1と13.5ポイントの大幅低下予想となっています（図表4-1）。

前年同期比売上額D Iは0.0、同収益D Iは2.7となっていることから、比較的景況感の高かった前年同期と同水準で推移していることが窺えます。（図表4-2）。

「日銀月報」によると、個人消費は「持ち直している」との判断であり、D Iがプラスに転じるなど景況感が高まっています。

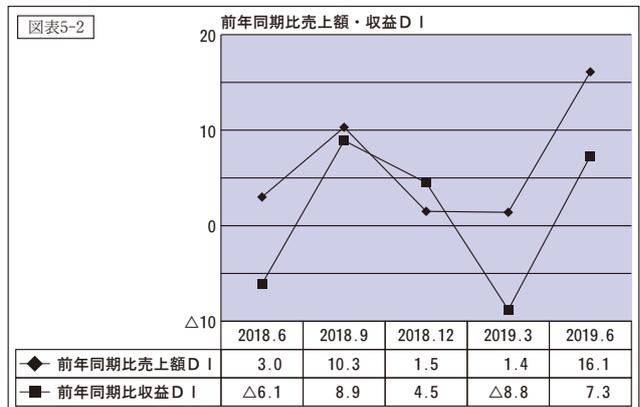
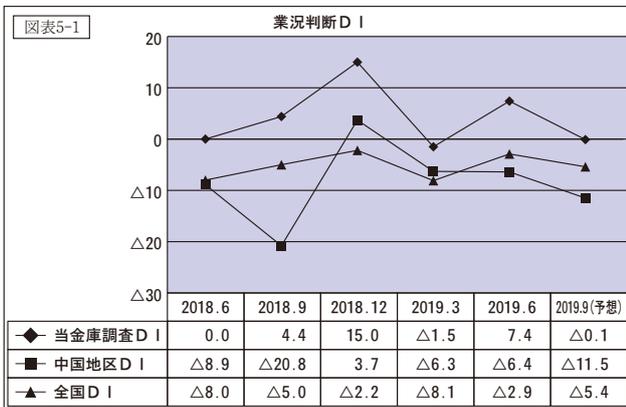
当面の重点経営施策では「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」との回答率が上昇し、当面の重点経営施策では「宣伝・広告を強化する」との回答率が上昇しています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少	51.4%	同業者間の競争の激化	40.5%	利幅の縮小	24.3%
当面の重点経営施策	経費を節減する	45.9%	宣伝・広告を強化する	32.4%	売れ筋商品を取扱う	18.9%

# サービ ス 業



## 景 況 ～今期上昇 来期は低下の予想～

今期の業況判断D Iは△1.5→7.4と前回調査比8.9ポイントの上昇となりました。来期の予想業況判断D Iは7.4→△0.1と7.5ポイントの低下予想となっています（図表5-1）。

前年同期比収益D I、同収益D Iともにプラスであり、景況感の回復が窺えます（図表5-2）。

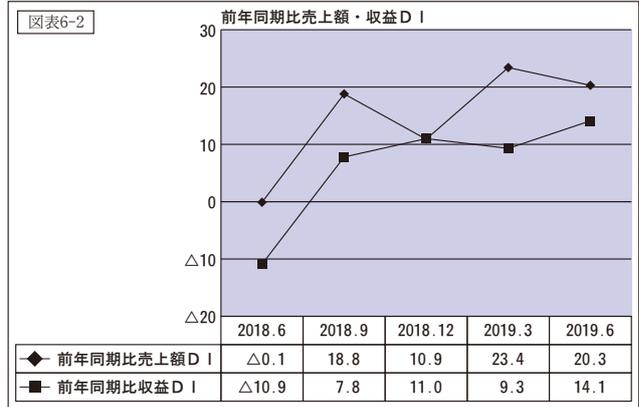
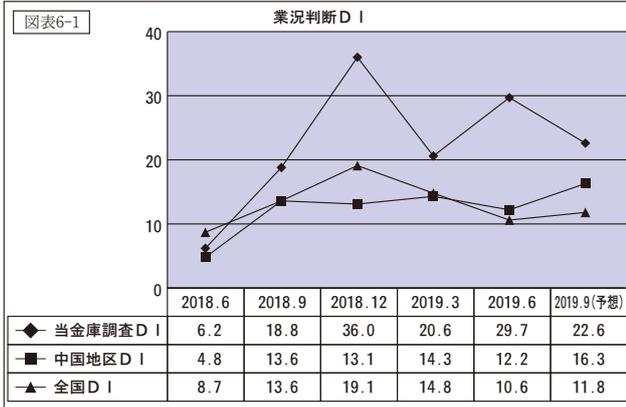
経営上の問題点では「人手不足」との回答が上昇、当面の重点経営施策では「人材を確保する」との回答が大幅に上昇しています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	人手不足	38.2%	同業者間の競争の激化	36.8%	売上の停滞・減少	26.5%
当面の重点経営施策	販路を広げる	41.2%	経費を節減する	39.7%	人材を確保する	26.5%

# 建設業



## 景況 ～今期上昇 来期は低下の予想～

今期の業況判断D Iは20.6→29.7と前回調査比9.1ポイントの上昇となりました。なお、来期の予想業況判断D Iは29.7→22.6と7.1ポイントの低下予想となっています（図表6-1）。

前年同期比売上高D I、同収益D Iともにプラスとなっており（図表6-2）、前回調査に引き続き平成30年7月豪雨による災害の復旧に関する受注が続いていることに加え、岡山市中心部における再開発事業が活発化していることも要因のひとつと考えられます。

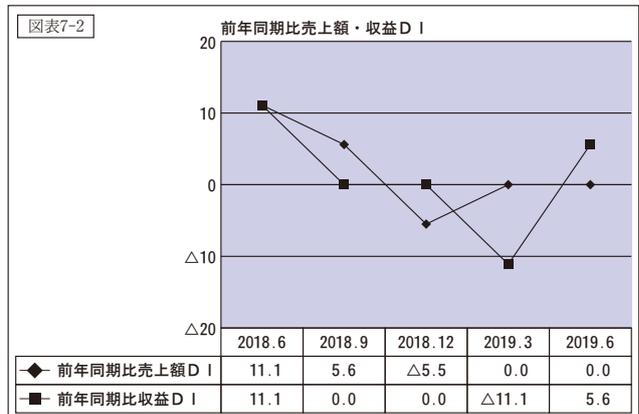
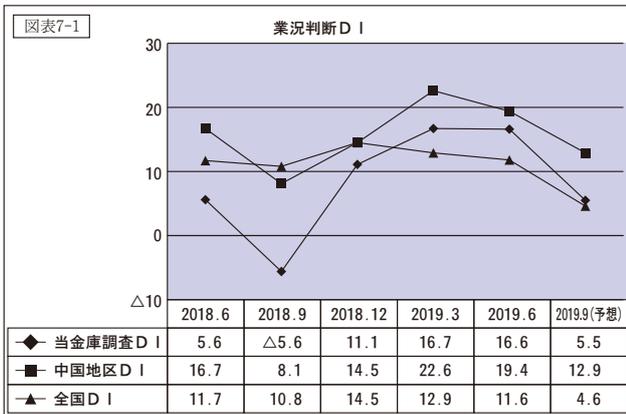
経営上の問題点、当面の重点経営施策では依然として「人手不足」が1位となっていますが、「材料価格の上昇」との回答率が上昇しており収益面での圧迫要因となる恐れがあります。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	人手不足	40.6%	売上の停滞・減少	32.8%	材料価格の上昇	25.0%
当面の重点経営施策	人材を確保する	43.8%	販路を広げる	31.3%	経費を節減する	28.1%

# 不動産業



## 景況 ～今期わずかに低下 来期は大幅低下の予想～

今期の業況判断D Iは16.7→16.6と、前回調査比0.1ポイントの低下となりました。なお、来期の予想業況判断D Iは16.6→5.5と11.1ポイントの大幅低下予想となっています（図表7-1）。

前年同期比売上額D Iは0.0、同収益D Iは5.6となっており、景況感が高めに推移しています（図表7-2）。

経営上の問題点では「同業者間の競争の激化」との回答率が大幅に上昇し「人手不足」との回答率も上昇しています。当面の重点経営施策では「情報力を強化」「宣伝・広告を強化する」「販路を広げる」のいずれも回答率が大幅に上昇しており、物件の動きが活発化している中で、いかに売上を確保するかが課題となっています。

## 経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	商品物件の不足	44.4%	同業者間の競争の激化 商品物件の高騰	27.8%	人手不足	22.2%
当面の重点経営施策	情報力を強化する	55.6%	宣伝・広告を強化する	33.3%	販路を広げる	27.8%

## 調査先企業の声

### 製造業

- ・受注は安定しているが、材料費高騰により利幅が減少している。【金属加工】
- ・岡山市街地の再開発による需要増加が期待できる。【砕石】
- ・東京での受注獲得を目指し従業員を派遣しており、東京における景気動向や受注動向などの報告を受け、今後に活かしたいと考えている。【看板製作】

### 卸売業

- ・同業者の廃業が相次いでいることで取引先が増加しているものの、県外業者の参入により再び競争が激化している。【食肉卸】
- ・原材料価格が今後上昇する見込みであり、仕入業者に価格交渉中である。【建築資材卸】
- ・今後、電子決済の普及に伴い券売機自体の需要減少が予想されることから、新たな事業の柱を構築するべく模索中である。【券売機卸】

### 小売業

- ・若者の車離れにより昔からのお客様から入れ代わりが少なく高齢化が進んでいることから、若年層の囲い込みが課題である。【自動車販売・整備】
- ・スマートフォンのカメラ機能が高度化するにつれ、カメラ店での売上は減少。新たな事業であるコインランドリーが主力となってきている。【カメラ販売】
- ・人材不足が深刻である。今後中国人の従業員を雇用し、中国人向けの販売を強化する考えである。【茶販売】

### サービス業

- ・介護タクシーを扱うことで同業者との差別化を図っている。【訪問介護】
- ・来店客の若返りもあり、クレジットカードでの支払いが増加している。今後はキャッシュレスが急速に普及すると考えられるため、対応を検討している。【中華料理店】
- ・売上、利益とも順調に推移しているが、人手不足が深刻である。【回転すし店】

### 建設業

- ・平成30年7月豪雨の被災地区への仕事がまだ多く、人手不足もあり多忙である。【内装工事】
- ・働き方改革として職場環境の改善に着手しているが、人手不足で思うように進んでいない。【総合建設】
- ・岡山市内の小中学校にエアコンが設置されることとなり、今後工事の受注が増加する見込みである。【電気工事】

### 不動産業

- ・近隣で商品土地を見つけるのが困難になっている。今後はエリアを拡大して情報収集に努める。【不動産売買】
- ・近隣の方から遊休土地の有効活用を相談され、造成・売却につながった。地元密着で気軽に相談できる店舗となるよう努める。【不動産仲介・売買】
- ・物件が高騰している。動きも活発であり情報を早めにキャッチして競合に先んじて手を打つよう努力している。【不動産売買】

# 平成30年度 おかやましんきん地域活性化支援制度 “エリアサポート” 助成金贈呈事業者のご紹介

## ◆株式会社マリフオート様

### 応募事業テーマ：浄水型グリーンアイランドの開発と販売事業

当製品は池や湖、沼、ダムなどに浮かべる浮島であり、浮島の上は植物が育ち、鳥が降り立つことができ、趣ある風景を実現できる。また、水中では植物の根が伸び、その周辺に魚が集まる。また、浮島の中に浄水材を組み込むことで、浮かべているだけで水質は改善していく。地域の環境・景観を改善することで、地域住民の住みやすさを高め、定住率、移住率を高めることにも寄与する。

所在地：岡山市南区箕島296-3  
主たる業種：発泡スチロール製品の製造・販売  
お取引店舗：妹尾支店

## ◆cycleZ様

### 応募事業テーマ：女性サイクリストのサポート強化で地域活性化

女性限定ボタリング（近郊を散歩感覚でサイクリングすること）イベントの開催や女性ロードバイクチームの発足などを通して、ロードバイク初心者、特に女性が気軽にスポーツ自転車を楽しめる環境作り、雰囲気作りをおこなう。

スポーツ自転車を愛好する人を増やし、併せて街の賑わいの創出も狙った取組みである。

所在地：岡山市北区島田本町1-1-47  
主たる業種：自転車小売業  
お取引店舗：津島支店

## ◆株式会社KCBプランニング様

### 応募事業テーマ：水なし洗車による遊休地利用と雇用促進

水なし洗車「機動洗車隊」事業として洗車業務および直営店経営を中心に人材教育・育成プログラムの構築など幅広いサービスを提供している。応募事業「SMART PARK WASH」は、専用アプリを使って、空きスペースを有効に活用したい土地所有者と洗車をおこないたいユーザーをマッチングするという全く新しい洗車サービスである。また、洗車後は駐車場としても利用可能なため、非常に利便性の高い事業である。

所在地：岡山市北区芳賀5303 岡山リサーチパーク  
インキュベーションセンター313号  
主たる業種：自動車などの洗車業務  
お取引店舗：青江支店

## ◆タマデン工業株式会社様

### 応募事業テーマ：ディーゼル発電と再生可能エネルギーのハイブリッド化技術

ディーゼル発電に依存する大洋州諸国における同社開発のインバーターを使ったハイブリッド発電電力制御技術の導入可能性調査をおこなう。

本技術はディーゼル・太陽光・水車など複数エネルギー源の発電を高効率に一括制御でき、同国が進める脱化石燃料政策ならびに我国が提唱するハイブリッドアイランド構想への貢献を図る。

現在倉敷市向山に於いて70kW規模のデモ機製作中。

所在地：玉野市玉原3丁目7-2  
主たる業種：配電盤・制御盤製造  
お取引店舗：和田支店

## ◆株式会社横山工房様

### 応募事業テーマ：発達障害児の「自分でできた！」を育む学習家具の新製品開発

今回の事業で開発に取り組むのは、ランドセルラックである。「すぐに他の事に気を取られてしまう」、「複合的な動作が苦手」といった、発達障害児の特性を踏まえた特別なデザイン・設計を施し、「自分でできた！」という体験を生み、自信・自立心を育むことができる製品である。

所在地：岡山市中区江並313-21  
主たる業種：木製家具製造業  
お取引店舗：操南支店

## 調査の要領

- 1) 調査時点 2019年6月3日～7日
- 2) 調査対象期間 2019年4月～6月（6月については感触）
- 3) 調査対象 250企業（有効回答数249企業・回答率99.6%）
- 4) 調査方法 おかやま信用金庫各営業部店の職員による面談での聞き取り調査
- 5) 分析方法 各質問事項で「良い」（上昇）とした企業が全体に占める構成比と、「悪い」（低下）とした企業の構成比との差（判断D I）を中心に分析  
※D I＝ディフュージョン・インデックスの略  
一般にプラスは好調、マイナスは不調を示す（仕入価格D Iについては逆）
- 6) その他 全国D Iならびに中国地区D Iは、全国の信用金庫が中小企業約16,000先を対象として調査し、信金中央金庫が取りまとめた数値を使用

## 回答率

（単位：先、%）

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
回答企業数	40	22	38	67	64	18
回答率	100.0	100.0	100.0	98.5	100.0	100.0

## 従業員数

（単位：先）

業種 (単位：人)	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計	構成比
0～9	33	21	30	52	31	10	177	71.1%
10～19	4	1	4	11	12	6	38	15.3%
20～29	1	0	0	3	12	1	17	6.8%
30～49	1	0	4	1	2	0	8	3.2%
50以上	1	0	0	0	7	1	9	3.6%
計	40	22	38	67	64	18	249	100.0%
構成比	16.1%	8.8%	15.3%	26.9%	25.7%	7.2%	100.0%	

## 資本金

（単位：先）

業種 (単位：千円)	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計	構成比
10,000未満	20	7	23	35	33	8	127	50.6%
10,000～49,999	17	15	14	29	31	10	116	46.4%
50,000～99,999	3	0	1	2	0	0	6	2.4%
100,000以上	0	0	0	1	0	0	1	0.4%
計	40	22	38	67	64	18	249	100.0%
構成比	16.1%	8.8%	15.3%	26.9%	25.7%	7.2%	100.0%	

## お客様へのインタビュー

岡山市内で印刷業を営んでいるお客様にインタビューをおこないました。

### ～事業の内容・現状について～

岡山市内で長年印刷業を営んでいます。ペーパーレスを背景として印刷物の需要は減少しており、当社としても、デザインやIT関連サービスに進出するなど生き残りをかけて様々な関連事業に進出をはかっています。

### ～当面の重点施策について～

新たな事業を軌道に乗せるべく若手の職員を採用し教育をおこなっています。IT関連に強い人材、デザイン力のある人材を確保・育成することが重要と考えています。

### ～将来像～

印刷・製本は当社の基盤として残しつつ、取引先企業の業務効率化に寄与できるサービスを展開し「その企業になくてはならない事業パートナー」となるべく努力していきます。

## 編集後記

今回調査期間における全業種総合の業況判断D Iは前回調査比で8.5ポイント上昇し13.8となり4期連続のプラスとなりました。景況感が高めに推移しているものの、米中の貿易摩擦や韓国との関係悪化などの影響が今後懸念されることから製造業を中心に今後の先行き不透明感が広がっており、設備投資に慎重な姿勢が窺えます。また、岡山における人手不足は依然深刻であり事業活動に影響を及ぼしています。

おかやま信用金庫では地元岡山の経済活性化ならびに皆様の生活が豊かになることを応援し、「地域価値向上」に向けて取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願ひします。



おかやま信用金庫  
価値創造部

— 2019.9 —

〒700-8639 岡山市北区柳町1丁目11番21号  
TEL 086 (223) 7672 FAX 086 (226) 2288  
http://www.shinkin.co.jp/okayama/  
e-mail:sien@okayama.shinkin.jp